

文化庁委託事業
「平成26年度次代の文化を創造する
新進芸術家育成事業」
演出家・俳優養成セミナー

演劇大学^{IN} にいがた 2014

8月28日[木] - 31日[日]
会場 = 新潟大学 〒950-2181
新潟市西区五十嵐2の町8050番地

お問い合わせ

演劇大学INにいがた 実行委員会

〒947-0026 新潟県小千谷市上ノ山1-2-24 (振徳座)
TEL・FAX 0258-82-4721
メール engeki2013@gmail.com

一般社団法人日本演出者協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F
TEL 03-5909-3074 FAX 03-5909-3075
メール j_d_a_info@yahoo.co.jp ウェブサイト http://jda.jp/

LECTURER'S PROFILE



西村 洋一

にしむら よういち

劇団京で活動した後、96年よりロシア国立サントペテルブルグ演劇大学の演出学科にて学ぶ(1年間は文化庁在外研修員として)。在学中は、演出と並行して、俳優としてのトレーニングも受ける。01年に5年間の課程を修了して卒業。帰国後は、演出や俳優トレーニングを行なう。俳優トレーニングの内容は、スタニスラフスキー・システムに基づいた、ボイス・トレーニングやムーブメントなど。



小林 七緒

こばやし ななお

俳優、演出家。早稲田大学法学部卒業。1998年より流山児★事務所に参加。2000年9月より1年間、文化庁在外研修員としてカナダ留学。帰国後「若手演出家コンクール2001」で最優秀演出家賞を受賞。主な演出作品に「夢話浮世寝間」(流山児★事務所)「標的家族!」(社団法人日本劇団協議会)「7ストーリー」(文化庁芸術家在外研修の成果)「桜の園」(韓国・アジア演出家展)などがある。日本演出者協会理事。



平塚 直隆

ひらつか なおたか

劇作家・演出家・俳優。2005年オイスターズ結成。以降全ての作・演出を担当。ライトドライな不条理系会話劇を得意にしている。全国の戯曲コンクールで大賞相当3本、佳作5本の記録は国内最多。演出家としても若手演出家コンクール2010優秀賞、2011最優秀賞を受賞。劇作家・演出家の登竜門である劇作家協会新人戯曲賞・若手演出家コンクールのW受賞は史上初の快挙。と、これだけ言ってもちっとも仕事が増えないので弱っている。



和田 喜夫

わだ よしお

1951年山口県下関生まれ。早稲田大学在学中より演出を始め、文学座養成所を経て、1982年から11年間、劇作家・岸田理生との共同作業を続ける。92年オーストラリアのアデレード、パース国際演劇祭で「糸地獄」を上演し絶賛を得る。01年よりオーストラリアやカナダ先住民の劇作家との共同作業を始める。「在日」の演劇人との共同作業も多い。代表作「糸地獄」、「居留地姉妹」、「ウィンドミル・ベイビー」等。演劇企画集団楽天団代表。日本演出者協会理事。



坂手 洋二

さかて ようじ

劇作家、演出家。1983年、熾光群を旗揚げ。ジャーナリスティックな視点と卓越したアイデアの作品群を発表。岸田國士戯曲賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞等を受賞。海外公演多数。戯曲は海外で10以上の言語に翻訳され、出版・上演されている。作品に「屋根裏」「たるまささんがころんだ」「普天間」等。「CVR」他、翻訳戯曲の演出も手掛ける。日本劇作家協会会長。日本演出者協会理事。



前川 知大

まえかわ ともひろ

劇作家・演出家。1974年新潟県柏崎市生まれ。超常的な世界観で、身近な日常と隣り合わせに現れる異界を描く。2013年カタルシツ「地下室の手記」、イキウメ「片鱗」で、第21回読売演劇大賞・優秀作品賞、優秀演出家賞を受賞。2014年、スーパー歌舞伎II「空ろ刻ム者」、イキウメ「闇数ドミノ」の作・演出。7月から上演の「暗いところからやってくる」(演出=小川絵梨子)、「太陽2068」(演出=蛭川幸雄)で脚本を手がける。



村井 健

むらい けん

演劇評論家。1946年秋田県生まれ、明治大学文学部卒。日本文芸家協会会員、社団法人「日露演劇会議」専務理事、紀伊國屋演劇賞審査委員、テアトロ新人戯曲賞選考委員、首都大学東京非常勤講師、JOKO演劇学校講師。新国立劇場演劇専門委員、05年度文化庁文化交流使(派遣国ロシア)、NHK「シアター・コレクション」オフィシャル・アドバイザーなどを歴任。著書「シチュアション」(五柳書院)、編著「海を越えた演出家たち」(れんが書房新社)ほか。



徳永 京子

とくなが きょうこ

演劇ジャーナリスト。朝日新聞劇評の他、公演パンフレットや雑誌、Web媒体などにインタビュー、寄稿文、作品解説などを執筆。現在、「シアターガイド」にて「1テーマ2ジェネレーション」を連載中。著書に、さいたまゴールド・シアターのインタビュー集「我らに光を」(河出書房新社)、日本の最新形の演劇を多角度から考察した「演劇最強論」(飛鳥新社/藤原ちから氏と共著)。東京芸術劇場運営委員および事業企画委員。

演劇虎の穴 — 演出で芝居は変わる。刺激・体験・交流の4日間!

日本演出者協会の中心事業のひとつ、「演出家・俳優養成セミナー」を今年も新潟で開催します。

今回は、「演出で芝居は変わる!」を実感して「演出を知る!」がテーマです。3人の演出家と俳優チームが同一戯曲を使い4日間芝居を創る「演劇虎の穴」に挑戦。他にも、誰でも3日で書ける戯曲講座、昨年大好評だった「スタニスラフスキー・システム」講座を基

礎編、応用編の2講座にパワーアップ、演劇批評や演劇史から現代演劇が見えてくる目から鱗の単発講座など、どの講座も未経験者から参加していただける内容ばかりです。

この夏、新潟でしかできない企画に現役の演出家が集結します。まずは刺激的な体験と交流から!

演劇大学INにいがた実行委員長 井上ほーりん

演劇大学とは

演劇大学とは、日本演出者協会が演劇の振興の一環として、国内外で活躍する演出家や俳優を招き、短期集中的にセミナーやワークショップを日本各地で開催しています。演劇を創り、勉強し、語り合うプログラムを実施し発表会などを行います。年齢、経験に関わらず、演劇の幅広さと奥深さを体感できる機会です。